

(6)
昭和八年

E-2399



歐米局
公第四號

昭和八年一月六日

在オデッサ

領事 田中文一



通商局

外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

當地寒天製造工場ニ關シ報告ノ件

客年中當「オデッサ」ニ「ソ」聯邦初メテノ寒天製造工場ヲ建築作
業開始セル趣ナルニ付三谷書記生ヲシテ見學セシメタルニ其復命ス
ル處左記ノ通り茲ニ報告申進ス

客中
三

在オデッサ日本帝國領事館

昭和八年一月廿六日接受

記

當市寒天工場ハ從來當市ニ在リシ膠工場ヲ改造セルモノニシテ設備
トシテハ釜十基、凝結場（二百秤分）及電氣乾燥室アリ總テ膠製造
用ノモノヲ利用ス
原料ハ黑海「オデッサ」附近所産ノ天草トス
労働者ハ現在約百名ニシテ大部分ハ女ナリ作業開始ハ本年三月ノ豫
定ナリシ處遲レテ七月ヨリ初メ當初ハ試験的ニ毎日二秤餘ヲ製造シ
十二月ニ至リ初メテ大規模ニ生産ヲナスニ至レルカ製造高ハ「ブラ
シ」ノ六百秤ニ對シ目下二百五十乃至三百秤ナリ
製造法ハ本邦ト異リ天草ノ乾燥漂白ヲナス天草ハ清水ヲ通シテ鹽

在オデッサ日本帝國領事館

分ヲ去リ生ノ儘ニテ煮沸シ其濃厚ナル液汁ヲ粹中ニテ凝結セシメ之
ヲ電氣乾燥室ニ入レ乾燥セシメテ寒天ヲ製造シ凍結ヲ利用シ水分ヲ
除去スル本邦製法トハ甚タ異ル
製品ハ一分厚ノ板狀ニシテ長六寸幅三寸位ノ大サニシテ漂白ヲナサ
サル爲メ黒褐色ヲ帶ヒ表面滑カニシテ外見膠ト異ル處ナシ尤モ色素
ハ使用ニ際シ水洗スレハ之ヲ除去シ得ル由ナルカ水分多ク其品質ハ
本邦品ニ比シ劣リ同工場ニ於ケル試験ノ結果ヲ見ルニ本邦品ハ白色
ニシテ原形ノ壞レサルニ「ソウエト」製ハ黄色ヲ帶ヒ蒸發分ハ本邦
品ハ少シモ無キニ對シ十分ノ一位蒸發ス
製品ハ專ラ國內ノ使用ニ當テ目下殆ント全部「モスクワ」製菓一ト
ラスト」ニ仕向ケ一部ハ「クリミヤ」ニ葡萄酒清淨用トシテ送付シ

在オデッサ日本帝國領事館

尙小部分ハ當地醫學校ニ於テ細菌培養ニ用ヒラレツ、アリ
尙工場主任ノ語ル處ニ依レハ黑海産天草ハ豊富且品質良好ニシテ三
〇%ノ寒天分ヲ含ミ大規模生産ニ適スルモ何分初メテノ試ミナレハ
製造技術未熟ニシテ未タ所期品質ノ寒天ヲ得ルニ至ラスト
「ソウエト」當局ハ本工場ノ製造開始ニ依リ外國殊ニ日本ヨリノ輸
入ヲ杜絶シ寒天ノ獨立ヲ期シ得ルニ至レリト豪語宣傳シ居リ現在ニ
於テハ技術ノ未熟、製造過程ノ不良等ニ依リ著シキ生産ナク品質良
好ナラサルモ外國品ノ輸入ヲ殆ント全部禁止シ内國産ヲ以テ需要ヲ
充サントスル「ソウエト」當局ノ政策ニ依リ我方ヨリノ輸入ハ近キ
將來全ク阻止セラルヘシ

在オデッサ日本帝國領事館

E4.11.0.2-2

公文書 昭 和 八 年 一 月 六 日 附 在 オ デ ッ サ 館 來 (電 機 第 四 號 寫 眞 附 屬 書 卷) 外 務 省	本信寫送付先 (昭 和 八 年 一 月 六 日 附 在 オ デ ッ サ 館 來 (電 機 第 四 號 寫 眞 附 屬 書 卷))	付爲御参考右茲ニ送付ス 本件ニ關シ今般在オデッサ田中領事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ	名 件 オデッサ「寒天製造工場」開スル件	受 信 人 名 農 林 次 官 商 工 次 官	發 信 人 名 有 田 次 官	記 録 件 名 有 田 次 官 寒 天 製 造 工 場	主 管 歐 米 局 長 主 任 第 一 課	歐 一 機 通 合 第 三 號 昭 和 八 年 一 月 三 十 日 附 屬	文 書 課 發 送 昭 和 八 年 一 月 三 日 發 送 済 淨 書 正 校 (原 稿) (淨 書) 昭 和 八 年 一 月 三 日 起 草	文 書 課 長
	公 信 案	本 信 寫 送 付 先	本 件 ニ 關 シ 今 般 在 オ デ ッ サ 田 中 領 事 ヨ リ 別 紙 寫 ノ 通 報 告 ア リ タ ル ニ	オ デ ッ サ 「 寒 天 製 造 工 場 」 開 ス ル 件	農 林 次 官 商 工 次 官	有 田 次 官	有 田 次 官 寒 天 製 造 工 場	主 管 歐 米 局 長 主 任 第 一 課	歐 一 機 通 合 第 三 號 昭 和 八 年 一 月 三 十 日 附 屬	文 書 課 發 送 昭 和 八 年 一 月 三 日 發 送 済 淨 書 正 校 (原 稿) (淨 書) 昭 和 八 年 一 月 三 日 起 草

不レシツトナリ

(以上)

在オデッサ日本帝國領事館

E-2399



公第五四號

昭和八年五月九日

在オデッサ

領事 田中文一



外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

通商局

當地天製造工場ニ關シ報告ノ件

海軍經濟事務
5-11-02-2

當地新設寒天工場ニ關シテハ爰ニ本年一月六日付公第四號ヲ以テ報告申進シ置タル處當地一チヨルノモルスカ、コムナニ紙所載技師ノ寄稿ニ依レハ同工場及製品ノ狀況左ノ如シ

一 一九三二年同工場ノ寒天製造高ハ四十七噸ニシテ本年ハ生産ヲ増加シテ三百八十六噸トスル豫定ナリ

在オデッサ日本帝國領事館

昭和八年六月拾一日

二 昨年ノ製造原價ハ寒天一疋ニ付五一六留ナリ本年ハ原料海藻ノ採收法及製造過程ノ改良ニ依リ幾分之ヲ低下ス

三 寒天ノ品質ハ未タ改良セラレス

原料海藻ノ水洗不充分ナル爲メ鹽分、貝類及塵埃等ノ混入物多キニ付品質改良ノ第一條件トシテ水洗ヲ丁寧ニシ煮沸時間ハ幾分寒天ノ出量ヲ減スルトモ之ヲ短縮シ灰分、蛋白質ノ含有量減少ヲ圖リ煮沸溶液ノ濾過並ニ乾燥設備ヲ改良スヘシ

右生産ノ増加ハ寒天ノ外國ヨリノ輸入ヲ爲サシテ自國品ヲ以テ内國ノ需要ヲ充シ且「ソ」聯邦内ニ於ケル寒天ノ需要モ増大セル爲メナルカ當局ニ於テハ歐羅巴及米國ニ於ケル寒天ノ需要逐年増加スルニ鑑ミ「ソ」聯邦製寒天モ自國原料ハ豊富ナルニ加ヘ品質モ色素及

在オデッサ日本帝國領事館

分 冊 E 4.11.0.2-2

通商
事務
部

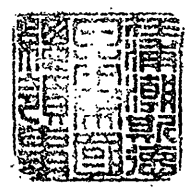
大 務 局

普通第四の八號

昭和八年十二月十二日

在浦潮斯德

總領事 渡邊 理 恵



外務大臣 廣田 弘毅 殿

浦潮斯德ニ寒天製造工場建設計畫ニ關スル件

從來奥子其ノ他食料品ノ原料トシテ「ソグイェト」聯邦ニ於テ消費
セラルル寒天ハ悉ク外國ヨリ輸入セラレ居ル處本月六日當地方機關
紙ノ報スル處ニ依レハ露西亞共和國供給人民委員部ハ明年中ニ當地
ニ寒天製造工場ノ建設案ヲ決定シタルカ右計畫實現ノ上ハ當地方沿
海ヨリ採取セラルル海藻ヨリ年々約百十五噸其ノ金額五萬金留ノ寒
天ヲ製造スルニ至ルヘントノコトナリ

右爲御參考報告申進ス

在浦潮日本總領事館

第一號

昭和八年三月廿六日接受

混入物ヲ除去スル等改良スルニ於テハ歐米市場ニ輸出スルノ可能性
充分ナルコトヲ豫想シ品質改良ノ點ニ於テハ本邦製品ヲ標準トシ其
生産増加及品質改良ヲ圖リツ、アリテ本年ノ生産計畫モ上記ノ如ク
非常ニ擴大セル次第ナリトノコトナリ
右報告申進ス

在オデッサ日本帝國領事館

大島

機密第二五六號

昭和九年十月二十三日

在浦潮斯德

總領事 渡邊 理 惠

昭和九年七月六日 接受

外務大臣 廣田 弘 毅 殿

在當地「ホボフ」島新寒天工場ノ操業開始ニ關スル件

從來當沿海州内ニ於ケル寒天製造業ハ「ウラヂーミル」灣沃土工場ニ於テ小規模ニ經營セラレ居タルニ過キサリシカ其ノ後本年四月四日附機密第九五號往信ノ連當地一番河ニ於ケル酒精工場ヲ改装シテ寒天製造工場トナシ作業初年度ニ於ケル產出計 最高三十萬金留ト豫定スル等銳意斯業ノ發達ヲ計リ來レル次第ナル處本二十三日ノ赤旗紙所報ニ依レハ當地「ホボフ」島ニモ新ニ寒天工場設置セラレタル模様ニテ同工場ハ十一月一日ヨリ操業ヲ開始シ差シ當リ日産額七十

在浦潮日本總領事館

調査部

應ノ寒天ヲ製造スヘント請フ

元々寒天製造原料タル海藻（「アンフエリツイヤ」）ハ沿海州一帯ノ海中ニ豊富ニ發生シ居レル趣ニシテ而モ寒天ノ用途ハ單ニ食料品トシテ利用セラルルニ止マラス進ンテ軍事上醫學上必要缺クヘカラサルモノトナレル折柄當沿海州内ニ前記ノ如ク三ヶ所ノ寒天製造工場カ其ノ實績尙不明ナリトハ云ヘ存在シ居レル點注目ニ値ヒスヘシト被存依テ右不取敢報告申進ス

本信為送付先 在「ソウヴェイト」聯邦大使

在「ホボフ」島總領事

在浦潮日本總領事館

E-2399

文書課長

文書課發送 昭和九年七月拾五日發送

淨書

正校(原稿) (淨書)
昭和九年十一月九日起草

主 管 歐亞局長 第一課

歐一機密 第四十八號 昭和九年七月拾五日

日附 附屬

受 信 人 永田陸軍省軍務局長
吉田海軍省軍務局長
磯谷參謀本部第二部長
津田軍令部第三部長
村瀬商工省航務局長

發 信 人 東郷 歐亞局長

件 名 神洲「ホホフ」島新墾工場
操業開始ニ関スル件

記 録 件 名 倉科 局長

本件ニ關シ今般在神洲渡辺總領事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ
付爲御參考右茲ニ送付ス

本信送付先 陸軍省海軍省參謀本部軍令部商工省

(昭和九年十月二十三日附在神洲 館來(往)機密第二五六號寫附屬書寫)

公 信 案

外 務 省

調査部

要字二寫部

E.P. 11. 0. 2-2

昭和十年三月二十六日

信州諏訪郡宮川村

今井修爾

外務省通商局御中

前略

公務御多忙。際恐縮の至りに存じ候へ共何
 卒左記に付御教示被下度奉希上候
 小生儀寒天製造業営み居り今回台湾
 及支那、滿洲へ販路を拡張直取引
 致し度く候へ共寒天の取扱及消費、営業
 者と不存、乍遺憾其の意を不得依つて
 領事館其他通商方面機関に依り大小
 。寒天取扱及消費の営業者と知悉致
 し度存小に付紹介の勞を中執り被下領
 事館其他の様実及其の所在地委細
 御教示被下度奉懇願候
 尚関稅等に付ては貴局より詳細御教
 示作ら度何卒御依頼申上候

(矢崎書店特製)

F4.11.0.2-2

文書課長 〇〇〇

文書課發送 昭和拾年四月拾八日發送済

淨書 〇〇〇

正校 (原稿)

淨書

主 任 第三課長

昭和十年四月十六日起草

通三機密 第七七五號 昭和拾年四月拾七日

日附 附屬 有

17 21 〇〇

受 信 人 名 信 州諏訪郡宮川村

發 信 人 名 通 高 局

件 名 今井修爾

記 録 件 名 食料局事務

件 名 滿支向寒天輸出ニ関スル件

本件ニ関シ三月二十六日附貴信ヲ以テ御申越ノ趣了

承、滿洲國及中華民國ニ於ケル寒天取扱高ニ関シテ

公 信 案 外 務 省

ハ從來在外帝國公館ヨリ一般食料品取扱高トシテ
當省ハ報告アリタルモノ別紙ノ通回答ス、尚海外
ノ邦品取扱高ハ通高局刊行「通高局日報」紹介欄
ニ隨時掲載スルニ付同報御参照相成度
同報ニ関シハ別紙ニテ御了悉相成度

別紙字作成添付ノ事

公 信 案 外 務 省

E-2399

海軍及
通商日報

一、廣州市

滿洲支那ニ於ケル食料品取扱高

信用状態ニ直接
調査セラル

大新公司

廣州市西堤

施先公司

同 長堤

元隆亨辦館

同 六二三路二七四号

廣奕祥辦館

同 十八甫南路五六号

福記辦館

同 菜欄街

公 信 案

外 務 省

二、赤峰(邦高)

奉天滿蒙毛織株式會社出張所
(経理部 武内英夫)

赤峰 二道街

日滿商店(山崎高純)

同 同

丸福商店(野間政俊)

同 同

花光商店(花光佐市)

同 同

昭和洋行(小林宗謙)

同 西横町

齊藤商店(齊藤武文)

同 三道街

公 信 案

外 務 省

E-2399

中華民國輸入稅			
稅番	品名	單位	稅率(金單位)
二七四	石花菜(散荷ノモノ)	百磅	三.〇〇
三六六	寒天	百磅	八〇.〇〇

公 信 案
外 務 省

滿洲國輸入稅			
稅番	品名	單位	稅率(金滿洲圓)
二四八	石花菜 (Agar-Agar)	担	一.九一
三三二	寒天 (Jangfacs)	担	六六.三〇

軍隊用違禁品
 吉田高會 (吉田儀八)
 同 五道街

公 信 案
外 務 省

E-2399



考考
トット

普通第一八九號

昭和十一年六月八日

在浦潮斯德

總領事 杉下裕次郎

外務大臣 有田 八郎 殿

寒天製造事業ニ關スル件

本件ニ關シ五月三十日附「ルイブナヤ、インドストリヤ」(漁業)紙上ニ太平洋水産研究所ニ於ケル海草類ノ權威者「ガイル」技師ノ別紙譯文ノ如キ記事掲出セラレタルニ付右何等御參考迄茲ニ報告ス
本信寫送付先 在「ソヴィエト」聯邦大使
在「ハバロフスク」總領事

在浦潮日本帝國總領事館

別紙添附

昭和十一年六月廿五日接受

寒 天

(一九三六年五月卅日「ルイブナヤ、インドストリヤ」紙)
最近産業上重要ナル意義ヲ獲得シ來レル寒天工業ハ一九三一年太平洋水産研究所ノ技師「トレイマン」カ彼得大帝灣ニ於ケル海草「アソフェリチヤ」中ニ寒天ノ含有成分ヲ發見シ其ノ工業的抽出ノ「プロセス」ヲ基礎付クルニ成功セルコトカ其ノ端著ヲ爲セルモノナル處今ヤ蘇聯邦ハ寒天ノ輸入ヲ必要トセス其ノ工場ハ自國原料ヲ以テ製造シツ、アリ然モ遠カラサル將來ニ於テ蘇聯邦製寒天カ世界市場ニ進出スルニ至ル可ク政府ハ本年度極東寒天工業組織ニ對シ八百萬留ノ支出ヲ豫定シ居レリ
而シテ「アソフェリチヤ」ノ集積ハ彼得大帝灣ノ「ルスキー」島東南ノ海底深サ十乃至三十「メートル」ノ區域ニ發見セラレタル處海流ハ絶ヘス之ヲ右地點ヨリ他ノ區域ニ押流シ爲ニ「マンヂュル」灣、「イリモワヤ」灣、「ベレウオズヌイ」岬附近ニモ新集積形
成セラレ場所ニヨリテハ其ノ厚サ五十「センチ」ニ達スルモノアリ

在浦潮日本帝國總領事館

發信用		執務用	
主信	甲	乙	丙
附屬	丁		
備	E4.11.08-2		

要寫一部

公	信	案
(昭和十一年七月八日附在浦珍館來電第一八九號寫並附屬書寫) 本信送付先		
名	件	記
極東の領土に於ける寒天製造事業に関する件 本件ニ關シ今般在浦珍館下總領事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ 付御參考ノ爲右茲ニ送付ス		
名	人	信
農林省 原水産局長 東郷政亞局長 海軍省 海軍少将		
管	主	任
歐亞局長 第一課 昭昭和拾壹年六月廿九日 日附 附屬		
文	書	課
昭昭和拾壹年六月卅日 發送済 淨書 八枚 正校 (原稿) (淨書)		

毎年此ノ「アンフェリチャ」ハ特定ノ沿岸地域ニ夥シク漂着シ
 マンヂユル「灣ニ於テハ一九三五年中約六千「ツエントネル」ニ
 達シタルカ「ルスキー」島、「ベレウオズヌイ」岬附近ニモ著シク
 漂着ス此等漂着セル海草ハ大ナル價值ヲ有スルヲ以テ原料採集上好
 適ナル地域ト云フヲ得ヘレ
 今日迄ノ處「マンヂユル」灣ニ於ケル漂着海草ノミヲ利用シ來レ
 ルモ本年度ニ於テハ「テムプ」ハ機械力ヲ以テスル採取ヲ行ヒ第一
 次原料ノ製出ヲ行フ可ク從而一九三六年度極東ニ於ケル寒天ノ製造
 ハ著シク増加スルコト、ナル可キカ浦潮ノ工場ノ外「ウラヂミル」
 灣ニ於ケル「テムプ」ノ海草綜合工場モ一部寒天製造ヲ開始スル筈
 ナリ
 太平洋水産研究所技師「ガイル」

在浦潮日本帝國總領事館

29 300

E-2399

歌
送
書

普通第二七〇號

昭和十一年八月十二日

在浦潮斯德

總領事 杉下裕次郎



外務大臣 有田八郎 殿

新寒天工場ニ關スル件

沿海州「ウラヂミル」灣ニ於ケル沃土工場ニ關シテハ當館屢次ノ報告ニ依リ既ニ御承知ノ通りナル處本月九日附赤旗紙ノ報スル所ニ依レハ右沃土工場ハ今般寒天工場ニ改装セラル、コト、ナリ改装費トシテモ萬留ヲ支出セラル、趣ナルカ改装後ハ一日百「キロ」ノ寒天ヲ製出スル豫定ナリト
因ニ寒天工場ハ十二月一日ヨリ着手ノ豫定ナリト云フ
右御參考迄茲ニ報告申進ス

在浦潮日本帝國總領事館

昭和十一年八月廿五日接受

本信彙送付先 在「ソウイェト」聊非代理大俵

在「ハバロンスク」總領事

在浦潮日本帝國總領事館

E-2399



發信用 執務用		
主信	1	2
附屬	甲	1
	乙	
	丙	
	丁	
備者	24.11.0 2-2	

要寫 懸案 部

文書課長	文書課發送	昭和拾壹年九月壹日發	送濟
主 管	歐亞局長	主 任	第一課
歐一普通密令	第三三一七號	昭和拾壹年九月壹日	日附 附屬
受	陸軍省 磯谷軍務局長	信	參謀本部 渡 第二部長
人	海軍省 軍務局長	名	軍令部 第三部長
件 名	新築天工場ニ関スル件		
本件ニ關シ今般在浦潮杉下總領事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付御參考ノ爲右茲ニ送付ス	本信送付先 陸軍省 參謀本部		
(昭和十一年八月十二日附在浦潮總領事館來(往)機第二七〇號寫並附屬書)	外務省		
記 録 名	發 信 人 名	東郷 歐亞局長	
吉井	正校(原稿) (淨書)		
昭和十一年八月二十日	起草		

別紙

1 18

E-2399



照合票

件名 記録

普通第三五號

昭和十三年二月二日

発信者 左ノヤト

日本銀行

受信者 外務省

件名

空天輸入業査査状方、件

原書ハ左記ニ在リ

記

E門2類0項0目 3-4 號

(分類 E4.11.0.2-2)

E-2399



照
合
票

通
信
第
二
九
九
號

記
録
件
名

昭和十三年二月十五日

通
信
局

發
信
者

受
信
者

神
奈
川
第
一
區
中
野
區
中
野
四
丁
目
八
〇

三
島
本
太
郎
本
店

件
名

海
外
送
付
天
輪
入
第

原
書
ハ
左
記
ニ
在
リ

記

(分
類
E
4.
11.
0.2-2
)

E
門
2
類
0
項
0
目

3-4
號

E-2399



三
記
入

分類 E 4. 11. 0. 2-2

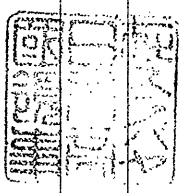
通商局 第三課

普通第一二七號

昭和十三年四月十五日

在スラバヤ

領事 姉齒 準平



外務大臣 廣田 弘毅 殿

蘭印ニ在ルニ在テ製紙工場設立ニ関スル件
本件ニ関シ本年二月四日附 普通第一二七号ニ在リ
在信ヲ以テ報告ニ及ビタルニ本件ニ在テ地場
行ノ「アイニヤ」ニ在リ「紙」ニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ
中部爪哇ニ在ルニ在テ製紙工場設立ニ関スル件
「フドス」(Kodaso)ニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ

在スラバヤ日本領事館

件
令
案
天
事
事

昭和十三年五月拾日接受

總領
17519
何受

場設立ニ関シ本月十日在地ノ市民會席ノ下ニ
畫大ナル創業ニ在リタルニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ
工場ノ規模ノ生産能力等ニ在リタルニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ
明カナル報告以テ「報」ニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ「報」ニ在リ
進ス

在スラバヤ日本領事館

在スラバヤ日本領事館

E-2399

下山

留書局
日報

通商局

通商三紙

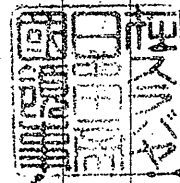
昭和三年六月七日 接受

普通第十七号

昭和三年五月廿四日

在スラバヤ

領事 姉齒 準平



外務大臣 廣田弘毅殿

蘭印ニ在ケル寒天製造工場設立ニ関スル件
 本件ニ関シ奉答第一四日附非普通通函ヲ奉答ス
 又非普通通函第一三三〇日附非普通通函ニ依リ
 本年五月廿七日附非普通通函ニ依リ
 ハンデルスブルクトレ、他ニ所ニ依リ、ハタケイア
 在ケル製氷水舎ニ付、ポトジヨ (Yamutokohyji Hotel)
 在スラバヤ日本領事館

ハ近ク寒天工場ヲ復立スルハク計畫中ニナル
 類ナリ、作テ右等現ノ曉ニハ蘭印ニ在ケル製
 種工場ハ「スランヤ」及「グドスト」等ニ工場ニ達
 スルカオナリ
 在スラバヤ日本領事館

在スラバヤ日本領事館





通商局印

記録

分類E411.0.2-2

通商局印 濟 昭和13年6月24日 昭和13年第144號

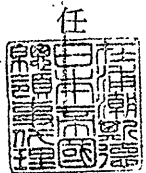
通商局

普通第二一四號

昭和十三年六月五日

在浦潮斯德

總領事代理 廣岡



外務大臣 宇垣一成 殿

蘇聯邦ニ於ケル寒天製造業ニ關スル件

本月一日附哈府ハチホオケアンスカヤ・ズヴェズダ紙及二日附當地機關紙ハ寒天製造ニ關シ大要左記ノ如キ同趣旨ノ記事ヲ掲載シ居レリ何等御參考迄報告ス

記

食料品工業ノ發達ノ爲重要ナル役割ヲ演スヘキ寒天ハ從來蘇聯邦ニ於テハ總テ外國ヨリノ輸入品ヲ以テ其需要ニ應シ來リタル處第一次五ヶ年計畫ニ於テ各種食料品工業ノ異常ナル進歩發達ト共ニ

在浦潮日本帝國總領事館

Handwritten notes in a box: 食料品工業ノ進歩

昭和十三年六月拾四日接受

茲ニ始メテ寒天ノ製造ヲ開始シタルガ現在ニ於テモ全聯邦ヲ通シ右製造工場ハ僅ニ四ヶ所(「オデツサ」「アルハンゲリスク」「ウラヂミル」灣(沿海州)及浦潮)ニシテ半ハ家内工業的生産ノ域ヲ出テス年産額モ未ダ五五噸ニシテ我國ノ全需要量タル七百乃至八百噸ヲ到底充シ得サル状態ニアリ
然ルニ我太平洋漁業研究所ノ調査ニ依レハ極東特ニ浦潮近海ノ海底ニハ寒天製造ノ原料タルヘキ海藻類豊富ニ繁茂シ居リ「ペトル」大帝灣ニアルモノノミニテモ年七百五十噸ノ寒天ヲ優ニ製造スルニ足ル趣ニシテ「キロ」三金留トセハ年額二百二十五萬金留ノ產出可能ナリ
而シテ寒天製造方法ニ付テハ日本企業家ハ一般ニ之ヲ公開セス專ラ秘密裡ニ之ヲ製造シ居ル處我國ニ於ケル科學ノ進歩ハ黨及政府ノ大ナル支援ノ下ニ優秀ナル寒天製造方法ヲ發明セリ
斯クシテ近キ將來ニ於テ我國ニ於ケル寒天製造業ハ日米ノ其ヲ遙ニ凌駕スルニ至ルヘク第三次五ヶ年計畫ニ於テ我極東ガ寒天製造

在浦潮日本帝國總領事館

	發信用	執務用	
主信	1	1	2
附甲	1	4	5
附乙			3
附丙			1
附丁			1
備考	類分 E 4. 11. 0. 2-2		

次大

東亞局長
歐亞局長
亞米利加局長
條約局長
情報部長
文化事業部長
調查部長
人事部長
會計部長
電信部長
翻譯部長
通商局總務課長
通商局第一課長
通商局第二課長

公文書案	何等御參考迄右茲ニ送付ス	昭和拾陸年五月廿四日附在「スラバヤ」館來信第一ノリニ號ニ並附屬書寫修正通作添付ノコト
	本件ニ關シ在「スラバヤ」館領事ヨリ別紙寫ノ通報書越タルニ付	
名件	蘭印於花寒天製造工場設立ニ關スル件	
受人信	寺尾貿易局長官	松嶋通商局長
名件録記	合科一頁引下	廣王了了
管主	通商局長 勅任事務官	通商局第三課長
通三	普通 第五六九號	昭和拾陸年六月拾壹日 日附 附屬有
文書課長	文書課發送 昭和拾陸年六月拾參日發送済	正校(原稿) (淨書)

業ノ大中心地タルヘク總ユル努力ヲ傾注スヘキナリ
本信寫送付先 在蘇聯邦大使

在浦潮日本帝國總領事館

11 30

E-2399

令料品取引手帳
寒天手帳
第一課長

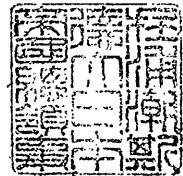
普通第三〇號

昭和十四年二月十四日

在浦潮斯德

總領事 七田基

玄



外務大臣 有田八郎 殿

大平洋漁業及海洋學研究所員ノ寒天「トレスト」創
設提唱ニ關スル件

二月九日赤旗紙ノ掲載セル太平洋漁業及海洋學研究所員「キゼウ
エツテル」ノ記事ハ當地方寒天製造業ノ現状ヲ窺知スルニ足ルモ
ノト認メ大要左記ノ通報告ス

記

帝制時代ハ寒天製造業振ハス爲ニ專ラ輸入ニ依リ又「ソ」政府樹
立後モ或ル期間輸入セラレタルカ其ノ後學術調査機關ノ努力ニ依

在浦潮日本帝國總領事館

分類 E41.0.2-2

リ輸入ノ要ナキニ至レリ極東ニ於テハ太平洋漁業及海洋學研究所
ノ調査ニ依リ原料發見セラレ製造方法亦案出セラレタルカ其ノ品
質輸入品ニ優ル、現在「ソ」聯ニハ「オデスサ」、「アルハンダ
リスク」及浦潮ノ三ヶ所ニ寒天製造所アルモ黒龍産ヲ原料トスル
寒天ハ品質不良ニシテ果子製造ニ適セス製法ヲ改良スルモ海草良
質ナラサル爲寒天ノ品質ヲ高ムルコト能ハス、白海産寒天ハ良質
ニシテ沿海州産ニ近似スルモ原料沿海州ニ於ケル如ク豊富ナラス
故ニ原料豊富ナル沿海地方ハ寒天製造ノ最適地ナリ、太平洋漁業
及海洋學研究所ノ原料調査ニ依レハ内輪ニ見積リテモ原料資源ヲ
損傷スルコトナク年額五百噸ノ寒天ヲ製造スルコト可能ニシテ一
「キロ」三留トシテ計算スルモ其ノ年額百五十萬留トナル、然ル
ニ沿海地方ニ於ケル寒天製造業ハ今日迄發達ヲ見スシテ經濟各部
門ノ需要ヲ完全ニ満足シ居ラス、現在沿海地方ニハ寒天企業ニア
リ其ノ製法半手工業的ニシテ年産三十乃至三十五噸ニ過キス右企
業ハ漁業及食料工業ノ二人民委員部ノ管下ニ在リ、第一沿海州寒

在浦潮日本帝國總領事館

E-2399

寫送先

秘書官 會計書 儀典 人調事 文情報 條約 通商 米洲 歐亞 東亞

大臣 次官

電信課長

分類 E 4 11.0.2-2



昭和14 九一四八 略 羅馬 三月廿七日發 廿八日前着 通

有田外務大臣

第七四號

在「ゼノア」「エラー」商會輸入ノ寒天二千封度ニ對シ組合ノ輸出許可證添附セラレ居ラス通關ヲ拒否セラレ居ル處取引商タル三井ニ確メタル結果右許可證ハ既ニ日本ヨリ發送濟ノ趣ニ付差當リ許可證ナシニ通關方爲替省ニ依頼シ置ケリ(了)

件 食 引 寄 取 引 寄 取 引

天製造所ノ實際作業振ヲ見ルニ原料ノ調達ヲ整調シ製法ヲ改善スレハ寒天ノ原價ヲ著シク低下セシメ一般需要品タラシメ得ルコト明カナリ故ニ寒天製造ヲ一箇所ニ統合シ沿海地方ニ寒天「トレス」ヲ創設スルコト適當ナリ

以上

在浦潮日本帝國總領事館

外務省

E-2399

主 附 丙 丁 備考 E41102-2

記録

公文書案	外務省	本件、自シ在「シドニー」秋山總領事申付、濠洲政村ハ七月十九日附テ以テ七月十七日	受信人 小島貿易局長	主 文書課發送日 昭和十五年拾月貳日
		濠洲政村ハ七月十九日附テ以テ七月十七日	受信人 水野通商局長	主 文書課發送日 昭和十五年拾月貳日
		濠洲政村ハ七月十九日附テ以テ七月十七日	受信人 水野通商局長	主 文書課發送日 昭和十五年拾月貳日
		濠洲政村ハ七月十九日附テ以テ七月十七日	受信人 水野通商局長	主 文書課發送日 昭和十五年拾月貳日

文書課長

昭和十五年拾月貳日

淨書

正校(原稿)

(淨書)

記

大島 高之 農林 外務大臣 松岡洋右殿

在シドニー
總領事 秋山理
外務大臣 松岡洋右殿
寒天輸入禁止ニ関スル件
當地統制ハ七月十九日附テ以テ七月十七日ヨリ 貯藏用寒天ヲ除ク其他ノ寒天ノ濠洲輸入ハ之ヲ禁止ス可キ旨告示セリ 委細ハ別添告示ニ就キテ了ス 悉願成度シ

在シドニー日本總領事館

普通第三八五號

昭和十五年七月廿六日

第六編

別紙添附

六通 9.18 受收

E-2399

發信用	執務用
主信	3
附	甲
門類	0000
項目	0000
口	44
號	44

○ 記録
2-2

文書課發送日 昭和拾五年拾月貳日	文書課長
主 任 通之普通第 四三三號	主 任 通之普通第 四三三號
受 信 人 小島貿易局長 大矢大知者主役局長 農林省農務局長	受 信 人 小島貿易局長 大矢大知者主役局長 農林省農務局長
先付送寫 名 稱 寒天	先付送寫 名 稱 寒天
發 信 人 水野通商局長	發 信 人 水野通商局長
名 件 録 記	名 件 録 記
在「シドニー」秋山總領事館より	在「シドニー」秋山總領事館より
ハ 七月十九日附テ以テ七月十七	ハ 七月十九日附テ以テ七月十七

日本標準規格 B 5

2 10

普通第三八五號
昭和拾五年七月廿六日

在シドニー
總領事 秋山 理 發

外務大臣 松岡 洋 右 殿

寒天輸入禁止ニ関スル件

當地統制ハ七月十九日附テ以テ七月十七日ヨリ 貯藏用寒天ヲ除ク其他ノ寒天ノ濠洲輸入ハ之ヲ禁止スル旨告示セリ 幸細ハ別添告示ニ就キテ了 悉煩成度ニ

在シドニー日本總領事館

別紙添附

大 蔵 省 文 書 課 受 取 印 9.18

E-2399



公
信
案

外
務
省

(日本標準規格B5)

右の如く用ニシテ使用セラルルヤ係言トシテ
 此得ルコトナリ但シ業者ハ計ノヲ
 公ニシテ價額ノ倍穀相角ナル保証
 人全ク積三ヲ要ス
 奉使送付先 貿易局、大蔵省
 農林省

公
信
案

外
務
省

(日本標準規格B5)

右ノ穀結果トシテ
 一 濠洲ニ輸入セラル、實天ハ唯肉加工トシ
 用ノミニ使用セシ加用達以外ノ業未
 * 非磅域ヨリノ輸入ハ一印之ヲ禁止
 ルトナル
 二 濠洲ニ輸入肉加工トシテ用ノ實天ニ付シ
 テハソノ量、價額、原産地、基礎年
 度ノ實績ニ関係ナク無制限ニ輸入

E-2399

0328